

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成21年9月分)

ご協力ありがとうございました。平成21年9月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 168社 回答 156社 回答率 92.9%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	19社 12.4% (2.6)	30社 19.6% (8.4)	57社 37.3% (30.5)	31社 20.3% (31.2)	16社 10.5% (27.3)	153社	1社 0.7% (1.4)	1社 0.7% (2.0)	14社 9.4% (8.8)	20社 13.4% (14.9)	113社 75.8% (73.0)	149社
売上高	16社 10.3% (3.2)	32社 20.6% (6.5)	56社 36.1% (30.3)	35社 22.6% (34.8)	16社 10.3% (25.2)	155社	1社 0.7% (0.0)	1社 0.7% (0.7)	10社 6.6% (5.4)	17社 11.3% (13.4)	122社 80.8% (80.5)	151社
在庫数量	4社 2.7% (0.7)	23社 15.6% (10.2)	62社 42.2% (44.9)	46社 31.3% (31.3)	12社 8.2% (12.9)	147社	11社 7.6% (7.7)	5社 3.5% (7.7)	24社 16.7% (14.7)	21社 14.6% (18.9)	83社 57.6% (51.0)	144社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	20社 13.3% (12.0)	91社 60.7% (60.7)	32社 21.3% (24.0)	6社 4.0% (2.7)	150社	2社 1.4% (2.1)	4社 2.7% (2.1)	19社 13.0% (14.1)	21社 14.4% (12.7)	100社 68.5% (69.0)	146社
収益状況 (粗利)	8社 5.3% (3.3)	25社 16.4% (6.5)	62社 40.8% (40.5)	39社 25.7% (29.4)	18社 11.8% (20.3)	152社	1社 0.7% (0.7)	3社 2.0% (1.4)	13社 8.7% (4.8)	24社 16.0% (17.0)	109社 72.7% (76.2)	150社
稼働率 (生産・加工設備)	6社 4.9% (2.4)	21社 17.2% (6.4)	55社 45.1% (34.4)	25社 20.5% (36.0)	15社 12.3% (20.8)	122社	1社 0.8% (0.0)	1社 0.8% (3.4)	18社 15.3% (9.2)	17社 14.4% (18.5)	81社 68.6% (68.9)	118社
入出庫の トラック台数	5社 3.4% (1.3)	22社 14.8% (4.7)	74社 49.7% (37.6)	30社 20.1% (40.3)	18社 12.1% (16.1)	149社	1社 0.7% (0.7)	1社 0.7% (3.6)	23社 16.1% (10.8)	33社 23.1% (22.3)	85社 59.4% (62.6)	143社
現在の景況感	0社 0.0% (0.0)	4社 2.6% (0.7)	36社 23.4% (19.2)	29社 18.8% (23.8)	85社 55.2% (56.3)	154社	1社 0.7% (0.0)	3社 2.1% (0.7)	10社 7.0% (8.0)	24社 16.8% (15.9)	105社 73.4% (75.4)	143社
3ヶ月後の 景況予測	2社 1.3% (0.7)	3社 2.0% (7.5)	34社 22.8% (21.8)	39社 26.2% (25.9)	71社 47.7% (44.2)	149社						
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(9月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 需要は緩やかに回復基調を辿っており、販売量では前年同月比 60~70%位まで戻っているように思われる。また、市況も市中在庫の大幅な減少が下支えとなって強含み推移となっているが、今後の需給動向の変化によっては予断を許さない状況下にある。なお、採算面では非常に厳しい状況が続いている。
- ② 母材が不足し、厳しい月となってしまった。10-11月も横這いで進行すると思われる。
- ③ 9月に入って、建築需要が伸びると思っていたが、8月より悪い。
- ④ 薄鋼板、鉄鋼は若干需要回復基調。建材は8並みで弱い需要のまま。ただ、収益は仕入れの下がった分を使用できたため、やや改善。9月のシルバーウィーク以降、日を追うごとに景気が悪化している。二番底になるだろう。とにかく、ユーザーに仕事が無い。仲間筋では7-8月に在庫補充の仮需的な動きがあったが、今後はその捌け方しだいで相場に影響が出るだろう。
- ⑤ 相場は引き締め、底値の切り上げが継続してきた。在庫も低位で暴騰しても良い状況。何が足りないのか。
- ⑥ 需要減退の状況下、材料価格のアップの動きは受注獲得に逆効果となっている。新政権は内需拡大を標榜しているが、即効性のある政策に乏しく、かつ当面依存せざるを得ない輸出関係も円高の打撃で、二番底の懸念が顕在化しつつある。受注回復の足取りが欲しい。
- ⑦ 中国向けを中心に、輸出回復傾向のニュースや高炉運転再開、国際的な自動車、エコ家電、住宅購入支援のインセンティブ等で、市況は上昇傾向。アロイを中心にメッキ品も在庫を絞り込んだ結果、一部には納期が原因での販売の機会損失もあった。必然的に、仲間からの仕入れに依存し、利益率はマイナスのものも出る事態の中で、実需は本当に弱く、国内向け建築関連は、新政権化での補正予算の執行停止の影響に注目している。ハコ物はノーでも、福祉や教育関連のコンバージョン工事や耐震工事に期待している。

中板

- ① 9月の販売量は前月比ダウン。予想以上に荷動きが悪く、月を追うごとに販売量が減少している。採算ラインまで市況底上げに注力するも、現状は停止した状態で推移。とくに建築関連の需要落ち込みが中板市況停滞の大きな要因と考えている。現下のスクラップの値下がり、今後の東京製鐵の価格にどう影響するか注目しているところ。今後、これ以上採算割れの商売は絶対に避けたく、厳しい環境ではあるが、市況維持に注力していく。

厚板

- ① 当月は前月比で増加したが、これは発注がずれた切板が集中したためであり、橋梁、鉄骨とも相変わらず低調であり、基調は変わっていない。前月までに橋梁の入札が集中して実施されたが、一部年内の鋼材発注に結び付くものはあるが、大半は年初からとなるため、年内はこの状況で推移するものと思われる。厚板の需給は、内需に関して、建機は在庫調整の進展と中国の需要増により底を打って、若干上向いてきているが、活況だった造船が新規受注が無く、鋼材発注もスローダウンしてきている。一方、輸出はエネルギー関連を中心に比較的堅調であり、厚板工場の稼働率向上の要因となっている。価格的には、いまだに底を這っている状況であり、先行き不透明感を払拭できない状況である。

一般開張鋼

- ① 需給のバランスが取れているとも思えないが、それにしても需要が少な過ぎる。一つの物件に群がり、安値で期近な物件しか決まらない。それでも取った者勝ちか？近い内に「二番底」の恐怖さえ感じるような相場が展開されるのだろうか。よく考えれば昨年末から新年にかけても同じような「二番底」があったように思う。これから暫くは「底なし沼」のような底ばった相場を覚悟しておこう。
- ② 売上、収益状況は月ごとに改善傾向にあるが、数パーセントでは結果は相変わらず厳しい。最近、日本市場から軸足を他国に移したり、同業者間で設備の統廃合をする業界が多いが、現況からして国内鉄鋼需要の空洞化が頭を掠める。中国しだいであるが、来年は二番底も覚悟せねばならないか

鋼管

- ① 数量はまだまだだが、利益率は改善しつつある。10月は営業日数が多いので、期待している。

構造用鋼

- ① 店売りについては、秋需に期待するところであるが、基調は相変わらず低調。荷動き、引合いとも弱い。紐付は自動車関連の動きに一時的に回復が見られるが、産機、建機はまだ在庫調整が長引き、回復には時間を要する。早い実需回復に期待するところである。

その他

<鋼材一般>

- ① 冷延、表面処理、酸洗の一部が品薄で入荷が遅れている。黒皮 3.2×4 巾、6.0×5 巾、9.0×5 巾も少ないが、引合い少ないため困る状況ではない。土木建築、産建機の仕事が非常に少ない。与信不安はこれから増大していくと予想される。

<鉄スクラップ>

- ① 国内需要が低迷。事業が海外に移り、スクラップ発生もこれから更に減少し、過当競争の中、先の見えないことに危機感を感じる。

<金属表面処理加工>

- ① 9月は前月比で稼働日数増も、紐付材に客先から工程納期調整があり、計画より若干の減少。スポットは8月と比べれば20%増となり、引合いも現状活発なことから次月は高目の計画。10月は物件物、紐付の数量がやや減少を予想するが、ほぼ同水準で操業予定。

<鋼材加工>

- ① 現在の状況はもはや常態化すると考えて、根本的な見直しを考えざるを得ない。政府の金融緩和政策には賛成できない。ただの先送りのみだ。